

宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年9月28日発行

— 2015.9.14 ~ 9.20・第38週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第35週	第36週	第37週
水痘	3 0.60				3 1.00	1 0.20		8 0.30	15 0.25	1,172		○	レ	
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10						5 0.19	7 0.12	281				
百日咳									0 0.00	1				
感染性胃腸炎	22 4.40	13 1.30	7 1.40	11 5.50	7 2.33	6 1.20		39 1.44	105 1.78	15,122	○	○	○	○
手足口病	108 21.60	127 12.70	69 13.80	23 11.50	22 7.33	78 15.60	13 6.50	294 10.89	734 12.44	9,345	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		2 0.20	2 0.40	4 2.00				8 0.30	16 0.27	1,513				
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	4 0.80		3 1.00	2 0.40	1 0.50	8 0.30	25 0.42	1,405	○	○	○	レ
ヘルパンギーナ	7 1.40	23 2.30	10 2.00	3 1.50	5 1.67	1 0.20	1 0.50	28 1.04	78 1.32	1,795	◎	◎	◎	○
インフルエンザ									0 0.00	19,606				
咽頭結膜熱	2 0.40	3 0.30				4 0.80		3 0.11	12 0.20	1,010				
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	144				
急性出血性結膜炎									0 0.00	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29 5.80	8 0.80	7 1.40			26 5.20		19 0.70	89 1.51	5,434	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	3				
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	4				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	2 2.00	2 2.00		6 6.00	1 0.20	12 1.00	269				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	10 2.00	3 0.30	3 0.60	3 1.50	10 3.33	10 2.00	1 0.50	36 1.33	76 1.29	622	○	○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	77				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	6	1				1	2					
	川崎病								1					
	不明発疹症								7					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名、女性1名

石巻管内 男性1名

仙台管内 男性3名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙南管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O26)

塩釜管内 男性1名

大崎管内 男児*1名

登米管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O103)

登米管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O15)

仙南管内 男児*1名

腸管出血性大腸菌感染症(OUT)

登米管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症(肺炎型)

仙台管内 男性2名

5類感染症: 報告なし

*男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【手足口病】

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中

【伝染性紅斑】

栗原管内で警報値を超えた

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第36週採取分 ノロウイルスGⅡ 1件

腸管出血性大腸菌感染症患者より

塩釜管内のO26関連 第38週採取分 O26 1件

登米管内のO26関連 第38週採取分 O26 1件

仙南管内のO15関連 第38週採取分 O15 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第35週採取分 (8.24～8.30)	第36週採取分 (8.31～9.6)	第37週採取分 (9.7～9.13)
RSウイルス	4件	1件	7件
アデノウイルス	0件	1件	0件
エンテロウイルス	0件	1件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	2件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	2件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	3件	1件

※RSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とする乳幼児に多い急性呼吸器感染症で、飛沫および接触により伝播します。特に乳幼児期には重要な疾患です。例年、夏から秋に患者数が急増し冬期に流行する傾向があります。特に警報・注意報基準値は設定されていませんが、県内でも患者報告数の増加がみられますので、今後の動向に注意が必要です。

【腸管出血性大腸菌感染症】

例年夏季に発生し、8月が最も多い傾向にありますが、9月に入っても県内の患者報告が多くみられていることから、引き続き注意が必要です。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

